

♪ わが家のアイドル ♪



清水町

久保田 こはるちゃん（2歳6カ月）
禅ちゃん（1カ月）

いつまでも姉弟仲良く元気いっぱい大きくなってね♪



藤沢台

竹本 昊生ちゃん（3カ月）

笑顔をありがとう
みんなを優しく包む子になってね



五軒家

花岡 来未ちゃん（8カ月）
来虎ちゃん（3歳）

2人仲良く大きく育ててね♡

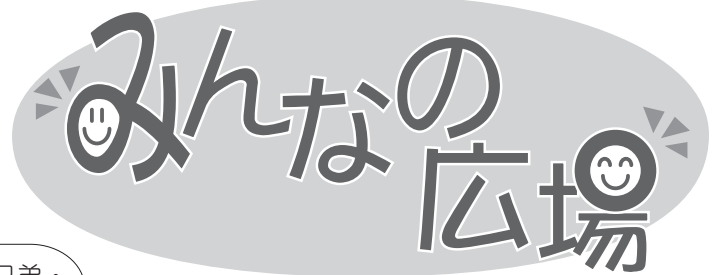
宛先

584-8511

常盤町1番1号
富田林市役所
情報公開課広報係
住所・氏名（ふりがな）・電話番号

わが家のアイドル（対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可）は、写真に、**メッセージ（20字程度）**を添え、**住所**、保護者とお子さんの**名前（ふりがな）**、**撮影時の年齢（月齢）**、**電話番号**を記入し、Eメール[kouhou@city.tondabayashi.lg.jp]または、封書で左記の宛先まで応募してください（Eメールの場合は件名に「わが家のアイドル」と入力してください）。

なお、今応募された場合、掲載は約3カ月後になります。



俳句

頂点 日原 輝子選
今月の詠題「当季雑詠」

秀句

大寒や静かに老の迫り来る

緑ヶ丘町 千葉 清子

△選評▽一読後、大寒の迫ることを、老に寄せて、その胸のうちを、上手に表現した、なかなかの巧みな詠みである。迷うことなく、大寒と老の双方が、強く引き合い止まぬその表現が秀句を立ち上げさせた。

氏神へ磴の百段春着の子

喜志町 松本 克江

一周忌かの日も雪でありしかな

宮町 土井 清子

初芝居糟糠の妻ついに死語

富美ヶ丘町 鶴田 祐子

初夢や木彫りの小鳥チツチと鳴く

不動ヶ丘町 安倍 葉子

初日出づ金剛葛城肌の合い

津々山台 岡林 均

浅草や笑顔の車夫に冬の汗

富田林町 大塚 健治

再びを蘇りきぬ弥生なる

選者 詠

※4月号は「川柳」を掲載します（なお、応募は2月28日で締め切りました）。

川柳・短歌・俳句は、それぞれ別のはがきで応募してください（1人各5点まで）。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。

5月号の「短歌」は3月31日（金）、6月号の「俳句」は4月30日（日）、7月号の「川柳」（宿題「嵐」）は5月31日（水）までに応募（いずれも必着）してください。宛先は上記をご覧ください。

もっと知ろう ひとりひとりのストーリーを

昨年11月、ひとりの中学生が英語で多くの観衆の前に熱く語り掛けました。

「こんにちは。私の名前は〇〇です。あなたから見た私の第一印象はなんですか？多くの人は外国人、アメリカ人、そしてハーフと言います。その言葉は、時として私を不快にさせます。私はこれまで何度も外人と呼ばれたことがあります。でも私は外国人ではありません。日本人です。日本のパスポートを持っています。私は日本人であり、またアメリカ人でもあります。そんな自分を私は誇りに思っています。」

私のような国際結婚で生まれた子どもに対して、いろいろな先入観や思い込みが存在します。1例として「英語能力」が挙げられます。多くの人は私の外見をただで英語が話せて当然だと決めつけます。私が英語で良い成績をとると「不公平だ」と言う人が時々います。他にももっとひどい言葉を言われて傷つくことがあります。私の生い立ちはあなたの想像とは違うのです。私は日本で生まれ日本で育ちアメリカには一度も住んだことはなく、ましてや他の国にも住んだことがありません。家庭には英語

を母語とする人はいません。

しかし私は英語が得意です。なぜならば…それはずっと頑張って努力をしてきたからです。私を外見だけで判断するのはやめてください。

日本国内において、国際結婚で生まれる子どもの人数は増加しています。そして、私たちはみんな違って、異なる色、異なる文化、そして異なる家族構成。私たちはみんなそれぞれ異なる背景・家庭環境を持っているのです。

ここに私の好きな言葉があります。『地球上のひとりひとりにはそれぞれストーリーがある。それを深く知ることなしに、その人を決めつけてはいけない。事実はあなたを驚かせるかもしれないから。』

第45回TBSCA（富田林・ベスレヘム姉妹都市協会）英語弁論大会で訴えられたこのスピーチの後、会場は多くの拍手に包まれました。

この生徒の投げ掛けは、私たちが考えていかなければならないこと、学ぶことがたくさんあることを感じさせてくれました。子どもたちがうわさや偏見に左右されず、ひとりひとりを深く知り、その個性を認め合える共生社会の担い手として成長できるよう、学校も含め地域全体による雰囲気づくりが大切なのです。 教育指導室（内線364）

明

日

を

め

ざ

し

て



発掘調査が進む畑ヶ田遺跡

畑ヶ田が、再びアツい

現在、文化財課では市営住宅の建て替え工事に先立ち、畑ヶ田遺跡（若松町）の発掘調査を実施しています。

畑ヶ田遺跡は弥生時代から中世にかけての遺跡で、その存在が明らかになったのは今から30年近く前になります。

近年の調査で一般的に集落跡ではなく官衙関連の遺跡ではないかと考えられるようになり、官衙とは役所のような公的施設のことを指します。市内には、南河内で最古級の寺院跡と考えられる国史跡・新堂廃寺跡（緑ヶ丘町）があり、一帯は飛鳥から奈良時代にかけて重要な地域であったと考えられます。

これまでの推定では、畑ヶ田遺跡の北側にある中野遺跡（中野町ほか）が官衙関連の遺跡ではないかとされてきましたが、畑ヶ田遺跡で再考を迫るものが次々と見つかったのです。

埋蔵文化財発掘レポート

23年の調査では、奈良時代の銭貨を入れた「かめ」が見つかりました。この「かめ」は建物の安全を願った地鎮か、子どもの成長と出世を願った胎盤を一緒に入れた胞衣壺（へいぎ）と考えられます。

このような土器は平城京跡で多く見つかっており、都の風習を取り入れていたことがうかがえます。

また、25年の調査では飛鳥時代のもものとみられる「すずり」が見つかりました。

墨と筆を使い文字を書くことは、当時の一般庶民には无缘で、役人がいた証になります。

この他にも、遺跡内の広い範囲にわたって、直径が1メートル近い巨大な柱穴が見つかり、おり、大きな建物が並んでいたことも分かっています。

今回の調査場所は、「かめ」と「すずり」が見つかった地点の中間に位置しており、調査開始時から既に、たくさんの土器が姿を現していることから、予想以上に遺跡が良好に残っていることが分かりました。

これまでの畑ヶ田遺跡の中でも、最大規模となる今回の調査で、果たして官衙関連の遺跡である新たな証拠は発見されるのでしょうか。

調査成果にどうぞご期待ください。

文化財課（内線507）